
福祉社会学会ニューズレター 第 59 号

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.59

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

目次

- * 福祉社会学会・第 18 回大会テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について（2 月 28 日締切）
- * 福祉社会学会・第 18 回大会自由報告の募集について（4 月 28 日締切予定）
- * 現在非会員で大会報告をお考えの方に
- * 福祉社会学会・第 18 回大会の抄録集のホームページ掲載について
- * 福祉社会学会・第 18 回大会シンポジウムのお知らせ
- * 福祉社会学会・第 18 回大会にての情報保障について
- * 福祉社会学会・第 18 回大会にての宿泊について
- * 理事会報告
- * 新入会員の紹介
- * 外部国際学会の御案内
- * 事務局からのお願い

* 福祉社会学会・第 18 回大会テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会第 18 回大会は本年 7 月 4 日（土）・5 日（日）に同志社大学今出川キャンパスにて開催予定です。大会のテーマセッションについてお知らせします。

テーマセッションはコーディネーターを中心に報告部会を企画していただくもので、コーディネーターには、報告者・報告順の決定、および当日の司会進行を行なっていただきます。テーマセッションは研究委員会に企画書を提出していただき、その採択・承認をもって成立します。採択の結果については締切後 1 週間以内にお知らせいたします。

テーマセッションは以下の 3 種類です。

- (1) 会員から報告者を公募する公募型テーマセッション
- (2) 報告者を公募しない、会員による自主企画セッション

(3) 非会員の報告者を含めた拡大セッション

※上記以外に、(4) 研究委員会企画テーマセッションが組まれる可能性があります。

- (1) の報告者公募型テーマセッションは、企画が採択された場合、3月6日頃にニューズレターで会員から報告者を公募します。コーディネーターは応募者の中から報告者を選定し、部会編成を行います。部会が成立しなかった場合や報告が採択されなかった場合は、大会の自由報告部会で報告することができます。
- (2) は自由報告の一部会の扱いになります。自由報告申込時に企画書（公募型、拡大セッションの企画書に準じたもの）を一緒にご提出ください。
- (3) は非会員を報告者を含めたセッションです。コーディネーターは会員である必要があり、報告者となる非会員には大会参加費を支払うことが求められ、その招聘や大会参加に伴う費用はコーディネーターが責任をもつものとします。拡大セッションは報告者の公募を含めることもでき、その場合には公募型と同様な募集を行います。

公募型テーマセッション、拡大セッションの企画書について

- ・締切：2月28日（金）
- ・申し込み先アドレス：fukushakai9research★googlegroups.com（←★を@に変えてください）
- ・企画書の内容：下記の事項および「テーマセッション・コーディネーター申込み」であることを明記した企画書をお送りください。
- ・テーマセッションの種類／所属／連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ・テーマ（そのまま部会名となります）
- ・拡大セッションの場合、非会員の報告者の氏名・経歴・研究歴などの情報
- ・部会趣旨（800字程度。承認された場合は、ニューズレターにそのまま掲載されます。）

テーマセッションに申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。申し込み後2日を過ぎても返信がない場合は、研究委員会の阿部彩までご連絡ください（ayaabe★tmu.ac.jp ←★を@に変えてください。）

*** 福祉社会学会・第18回大会自由報告の募集について**

本年7月4日（土）・5日（日）に同志社大学にて開催予定の第18回大会の自由報告募集のお知らせです。自由報告の申込と予稿集原稿の提出締切はいずれも4月28日（火）の予定です。申込書と予稿集原稿の提出の締切が同一日程に設定されていますので、ご注意ください。なお、いずれも電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。

い。

自由報告申し込みを検討される場合は、学会ニューズレターおよび本学会の WEB ページに掲載される大会 WEB ページにご注意いただき、締切などのお見落としのないようお願いいたします。

学会 WEB ページの URL は次の通りです。 <http://jws-assoc.jp/>

* 現在非会員で大会報告をお考えの方に

今回の本学会への入会承認は 7 月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお考えの方も、以下の手続きによって御報告（自由報告、テーマセッション報告）いただくことが可能です（共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

- (1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込締切時点の 4 月 28 日（火）必着で福祉社会学会事務局（〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院人文社会系研究科 金成垣研究室）あてに入会申込書を御郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。
- (2) 同時に、大会報告申込も、申込要領に従って 4 月 28 日（火）までに研究委員会あてに申し込んで下さい。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記して下さい。
- (3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認が必要になった場合は、庶務理事より連絡させていただきます。
- (4) 同じく 4 月 28 日（火）提出締切の予稿集原稿を御用意いただき、研究委員会あてに電子メールでお送り下さい。

9 月締切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には 7 月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いないようお願いいたします。

* 福祉社会学会・第 17 回大会の抄録集のホームページ掲載について

第 18 回大会では、抄録集を HP で掲載することになりました。抄録集が出来上がりましたら、学会員にはメールでパスワードをお知らせします（パスワードでの情報管理）。テー

マセッションと自由報告にご応募なさる場合は、抄録集が HP にアップされることをご了解いただきますようお願いいたします。冊子は、従来どおり学会大会の受付にて配布いたします。

* 福祉社会学会・第 18 回大会シンポジウムのお知らせ

第 18 回大会のシンポジウムは、以下に決定いたしました。奮ってご参加ください。

<タイトル>

「福祉と教育」：メインストリームの「教育」にのらない人々の教育保障を考える

<企画の趣旨>

近年、福祉と教育の距離が急激に狭まってきている。2013 年の「子どもの貧困対策の推進に関する法律」と翌年の大綱においては、学校を子どもの貧困対策のプラットフォームにすると謳われ、生活困窮者自立支援法の枠組みの中で学習支援事業が行われるようになるなど、教育政策の中で福祉的目的をもたせたり、また、逆に福祉政策の中で教育的要素を盛り込んだものが実践され始めている。

一方で、画一的な教育制度の中で、学校社会から排除されてしまう子どもたち・人々も多く存在する。文部科学省によると、不登校の子どもは 14 万人を超え、児童数に対する割合も平成 24 年度から上昇しており 1.47%となっている。これら不登校児に加え、障害をもつ子ども、外国ルーツを持つ子ども、性的マイノリティの子ども、妊娠した子ども、学びなおしたい成人など、多くの子ども・人々が日本の教育制度から排除されている。また、近年においては対策が進んでいるとはいえ経済的・家庭的な理由等で学校の中にも学力が身につけていなかったり、子どもの権利と言える学校生活そのものを楽しむことができない子どもも多く存在することが、近年の子どもを対象とした多くの調査から明らかになってきており、これらは「学校内の排除」と言えるであろう。

しかしながら、これらの問題に対処することが期待されているスクール・ソーシャル・ワーカーや学校外の学習支援事業は圧倒的に量・質が足りていないのが現状である。社会的排除/包摂の理論に当てはめるならば、これらを「福祉の問題」と切り分けるのではなく、教育政策の中でいかに包摂的な教育を築いていくかという視点も重要であろう。

本シンポジウムでは、福祉と教育の接近が求められる今こそ、教育の中での排除と包摂を見つめなおし、どのように福祉政策と部分的には統合し、部分的にはすみ分けでいくのかを考える。

<シンポジスト>

- (1)「包摂と排除の教育学」(仮題) 倉石一郎(京都大学総合人間学部)
- (2)「フリースクールをはじめとする学校外教育の動向」(仮題) 森田次朗(中京大学現代社会学部)
- (3)「インクルーシブ教育」(仮題) 中山忠政(弘前大学教育学部)

<パネル・ディスカッション>

パネル：倉石一郎、森田次朗、中山忠政

モデレーター：阿部 彩(東京都立大学人文社会学部)

*** 福祉社会学会・第18回大会にての情報保障について**

第18回大会にては、シンポジウムについては同志社大学の支援を受け、聴覚障害のある方への要約筆記を行います。シンポジウム以外のテーマ別セッション、自由報告セッションに参加される方で、要約筆記等の配慮が必要な方は、状況により要約筆記が可能な場合がありますので、お手数ですが2月末日までに研究委員会にご連絡ください。

研究委員会 fukushakai9research★googlegroups.com (←★を@に変えてください)

*** 福祉社会学会・第18回大会にての宿泊について**

夏の京都は観光シーズンであり、また、東京オリンピックも近いことから、ホテル等が大変混み合うことが予測されます。本会にては、宿泊の手配は行いませんので、宿泊なさる方々は早めに各自にてご手配ください。

*** 理事会報告**

福祉社会学会 2019年度 第2回理事会議事録(一部省略)

2019年12月21日(土) 14～17時 東京大学本郷キャンパス法文1号館115教室

出席：天田、稲葉、上村、金、高野、田淵、富江、畑本、平岡、平野、宮垣、森川、山田
欠席：阿部、須田

0. 冒頭、平岡会長より挨拶があった。
1. 事務局より、第 18 回大会を 2020 年 7 月 4 日（土）～5 日（日）に同志社大学今出川キャンパスで開催する予定であることが報告された。
2. 開催校・同志社大学の畑本理事より、第 18 回大会開催の準備状況（大会会場、懇親会、情報保障など）についての報告があった。
3. 平野研究副委員長より、第 18 回大会シンポジウム「福祉と教育」の企画、大会参加費（第 17 回と同額とする）、大会までのスケジュール（大会開催時期が例年より遅い 7 月となり、テーマセッションや自由報告の募集のスケジュールが例年より遅くなること、しかし、情報保障の準備や宿泊手配のお知らせは早めにする必要があること）、抄録集のホームページ掲載などについての報告があった。福祉社会学会後援学の研究会（第 112 回 SPSN 研究会、2019 年 7 月 27 日、津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス）についての報告があった。
4. 天田編集委員長より、2019 年度編集委員会の開催状況と学会誌第 17 号の編集状況についての報告があった。特別寄稿論文（ジョセフ・ガラスケウィクズ「社会学領域の組織理論」）、特別論文（『多様な親子関係』への支援を再考する）の全ての論文が提出済みであること、自由投稿論文は投稿 15 本のうち 12 本が受理されたこと、書評は 9 本の掲載が予定されていることが報告された。不受理論文に対して不受理決定理由および経緯についての説明があった。学会誌第 18 号では、特集 1 として第 18 回大会シンポジウム企画テーマ「福祉と教育」、特集 2 として「福祉の歴史」を検討中であることが報告された。その他、編集委員会事務局メールアドレスでの情報共有化、編集委員会 ML の活用による情報共有化、Dropbox を活用した編集委員関連情報の保管・情報共有化、学会誌第 16 号の J-STAGE への掲載、投稿規程、執筆要項の改正、投稿申込書の改定、機関レポジトリへの転載についての方針・規定・運用方法についての報告があった。
なお、編集委員会の審議事項として、編集委員会事務局のより合理的かつ安定的な運営のための編集委員会事務局の外部委託あるいは幹事体制、また論文の質向上のための英文ネイティブチェックの外部委託が提案された。それら人材や予算確保および具体的な運営方法などについての意見交換が行われた。それをふまえ、2020 年 7 月の理事会で再度審議し決定することとなった。
5. 社会学系コンソーシアム評議員の山田理事より、2020 年 1 月 11 日に開催予定のシンポジウム（「現代日本の『働く仕組み』」についての紹介があった。
6. 社会政策関連学会協議会協議員の平野理事より、2019 年 6 月 29 日に開催された若手応援フォーラムと 2020 年度の計画についての報告があった。
7. 財務委員の田淵理事より第 17 回大会会計の報告がなされた。

8. 事務局より入会希望者 6 名の入会申込書が回覧され、入会が承認された。
9. 第 19 回大会の開催校の選定について意見交換が行われた。
10. 平岡会長より、審議事項として「本学会の活動の国際化への取組について」の提案があった。当面の検討課題として、担当理事の設置、研究プロジェクトやワークショップの開催などを通じた海外研究者との交流、学会誌への英文論文の掲載、大会での英語使用、英文ホームページの開設が出され、意見交換が行われた。学会誌への英文論文の掲載については、編集委員会内での検討をふまえ、2020 年 7 月の理事会で再度審議することとなった。英文ホームページの開設に関しては、現行の日本語ホームページの改編と合わせて検討していくこととなった。
11. 平岡会長より、審議事項として、顧問推薦についての提案があった。
12. 事務局より、次回の理事会（2020 年 7 月 4 日、同志社大学）についてのお知らせがあった。

* 新入会員の紹介

(Web 版では省略)

* 外部国際学会の御案内

【EASP（東アジア社会政策会議）】

Beyond Inequality?: Social Security and Social Welfare between East and West

2020 年 6 月 26～28 日、香港・嶺南大学

2020 年 3 月 6 日締切

<http://welfareasia.org/archives/1370>

【ESPAnet（欧州社会政策分析ネットワーク）】

Up for the Future?: Social Policies in Challenged Societies

2020 年 9 月 2～4 日、ベルギー・ルーヴェンカトリック大学

2020 年 4 月 15 日締切

<https://kuleuvencongres.be/espanet2020>

【ISARC19（世界社会学会社会政策部会）】

Globalization in Retreat? Welfare States amid Regional Turbulence

2020年12月3～4日（予定）、台湾・国立台湾大学

締切日未定

<http://www.rc19.org>

*** 事務局からのお願い**

御所属や住所、メールアドレスを変更された場合は、毎日学術フォーラム福祉社会学会係（maf-ws@mynavi.jp）までお知らせ下さい。

【編集・発行】福祉社会学会事務局